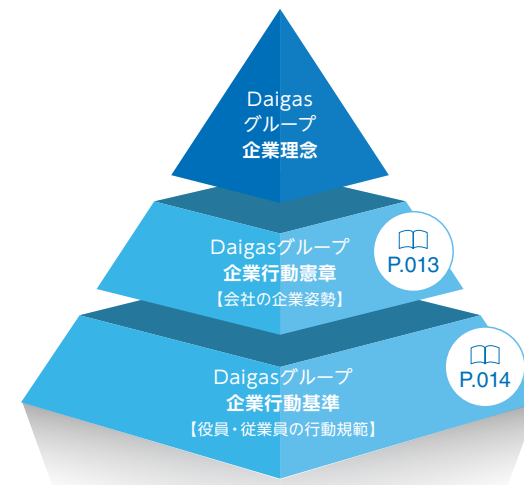


Daigasグループの価値観

Daigasグループの理念体系

Daigasグループは、「Daigasグループ企業理念」「Daigasグループ企業行動憲章」「Daigasグループ企業行動基準」を設定しています。「Daigasグループ企業理念」は、「Daigasグループの目指す姿」「Daigasグループの宣言」「Daigasグループ社是」からなるものです。暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指し、「お客さま価値」の創造を第一に、「社会価値」「株主さま価値」「従業員価値」の創造につなげ、4つの価値創造を実現することが、当社グループの社会的責任を全うすることと考えています。また、企業姿勢を示すものとして「Daigasグループ企業行動憲章」、役員・従業員が守るべき具体的な行動規範を示すものとして「Daigasグループ企業行動基準」を定めており、これらに基づいて事業活動に取り組んでいます。



Daigasグループ企業理念



-Daigasグループの目指す姿-

暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループ

-Daigasグループの宣言-

Daigasグループは、4つの価値創造を実現します



-Daigasグループ社是-

サービス第一

■ 価値創造の実現

お客さま価値の創造

様々なフィールドでお客さまの快適・便利・安心の向上に資するサービスを共に創り上げ、お客さまの期待に応え続けます。

- エネルギー事業における新商品・サービスの開発・提供の推進
- エネルギー製造・供給における重大事故件数ゼロの継続
- 不動産、情報通信、新素材事業への展開
- DX等による新規サービス創出、働き手不足の解消に貢献
- お客さまアカウント数1,038万件(2023年度)
- お客さま満足度12年連続90%以上(2023年度)

社会価値の創造

事業活動においては公正と透明性の確保に努め、社会の持続的発展と地球環境の改善に貢献します。

- エネルギーの安定・安全供給の維持継続
- 地震対策の推進
ポリエチレン(PE)管延長18,300km(2023年度)
- 天然ガスの高度利用、ガス体エネルギーのカーボンニュートラル化、再生可能エネルギー普及によるカーボンニュートラル社会への貢献
CO₂排出削減貢献量 501万トン(2023年度)
- 地域との共創活動の推進
- サプライヤーとの公正・透明性のある事業推進への取り組み

株主さま価値の創造

健全な財務基盤のもと、長期的かつ安定的に成長し、企業価値の最大化を図ります。

- ROIC経営の導入・深化
- 利益成長に応じた株主還元
- 資本市場との対話による企業理解の促進
- トランジションファイナンスの実施
資金調達 1,000億円超(2022-2023年度)

従業員価値の創造

従業員の様々な個性を尊重し、やりがいを持って仕事に取り組み成長するためのサポートを行います。

- DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の推進
女性役員比率 26.7%(2023年度)
女性取締役比率 20.0%(2023年度)
- 能力開発プログラムの充実と誰もがチャレンジできる制度を整備
年間研修時間 25.1時間/人(2023年度)
- 従業員エンゲージメント
適正水準を維持
総合4指標(総合満足度/ロイヤリティ/勤続意思/推奨意向)を確認(2023年度)

Daigasグループ企業行動憲章 ▶ Daigasグループ企業行動憲章

Daigasグループは、「お客さま価値」の創造を第一に、これを「社会価値」「株主さま価値」「従業員価値」の創造につなげることを事業活動の指針としており、公正で透明な事業活動を通じて、4つの価値創造を実現することが、当社グループの社会的責任を全うすることと考えています。ステークホルダーの期待に応え、「企業の社会的責任」を全うし、当社グループが持続的な発展を図っていくとの企業姿勢を示すため、「Daigasグループ企業行動憲章」を定めています。この憲章に基づき、当社グループは事業活動を通じ、お客さま、社会、株主さま、従業員とともに、持続可能な経済成長と社会的課題の解決を目指します。

経営トップは、本憲章の趣旨を体し、率先垂範に努めます。また、法令違反等の問題が発生したときは、経営トップは自ら問題解決にあたり厳正に対処します。

Daigasグループ企業行動憲章

憲章Ⅰ お客さま価値の創造

Daigasグループは、天然ガス、電力、LPG等のエネルギーの安定供給、保安の確保やサービスの提供を通じて、エネルギーレジリエンスの向上を目指します。あわせて、多様な事業の展開とイノベーションにより、時代に対応した新たな価値創造を通じて、お客さまの快適な暮らしとビジネスの発展に貢献していきます。

憲章Ⅱ 環境との調和と持続可能な社会への貢献

地域および地球規模の環境保全は、エネルギービジネスを中心に事業展開するDaigasグループにとって極めて重要な使命です。我々のあらゆる活動が環境と深く関わっていることを認識し、気候変動をはじめとする環境問題に対応し、革新的な技術の開発と普及を推進し、エネルギーや原材料等の資源の高度利用に取り組みます。

憲章Ⅲ 社会とのコミュニケーションと社会貢献

Daigasグループは、自らの企業活動を世の中に正しく理解していただくため、情報を積極的に公開し、経営の透明性を高めます。そして、幅広いステークホルダーとの建設的な対話を通じ共創を推進します。また、良き企業市民として、地域社会に貢献するよう努めます。

憲章Ⅳ 人権の尊重

Daigasグループは、人権が全ての人が生まれながらにもっている基本的権利であることを理解し、人権に関する国際的な規範を支持するとともに、Daigasグループに関わるステークホルダーの人権の尊重に努めます。

憲章Ⅴ コンプライアンスの推進

Daigasグループは、全ての役員および従業員が、コンプライアンスを確実に実施することで、社会からの信頼を得る健全な企業グループを目指します。コンプライアンスとは、法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む幅広いものと捉え、事業活動を行う国または地域の文化、慣習等を尊重し、誠実で公正な事業活動を行います。

憲章Ⅵ 人間成長を目指した企業経営

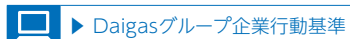
Daigasグループは、雇用の確保を図るとともに、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境づくりに努めます。従業員の個性と自主性を尊重し、やりがいを持って仕事に挑戦し、人間的成長を図るためのサポートを行います。DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)を積極的に推進します。

Daigasグループの各方針 ▶ Daigasグループの各方針

Daigasグループでは、各分野の企業姿勢を示すものとして、方針を定めています。その他、サステナビリティ関連の指針、宣言等は下記のとおりです。

- ・ Daigasグループ人権方針
- ・ Daigasグループダイバーシティ推進方針
- ・ Daigasグループ調達方針
- ・ Daigasグループ取引先の皆さまへのお願い
(調達に関するガイドライン)
- ・ Daigasグループ環境方針
- ・ Daigasグループ生物多様性方針
- ・ グリーン購買指針
- ・ プライバシーポリシー
- ・ 家庭用ガス機器の製品安全自主行動計画
- ・ Daigasグループ健康経営宣言

Daigasグループ企業行動基準



▶ Daigasグループ企業行動基準

企業は、公正な競争を通じて新たな価値を創造し、その活動を通じて、社会に貢献するという使命を有しており、これが「企業の社会的責任」と言われるものです。コンプライアンスは社会的責任を果たすための基礎であり、Daigasグループがその責任を全うするためには、コンプライアンスを確実に実施することが何よりも大切です。

「Daigasグループ企業行動基準」は、コンプライアンス経営を実現するために、当社グループで働く役員・従業員が、確実にとるべき行動の基準を示したものです。

本基準は、諸規程の基本となる規程であり、業務を遂行するにあたって、本基準に則り適切に行動しなければなりません。しかしながら、世のなかの動きは非常に速いため、本基準に定めのない事項が生じることもあります。その場合は、「Daigasグループ企業行動憲章」および本基準の背景や精神を考え、これらに則った適切な行動をとる必要があります。

Daigasグループ企業行動基準

1. 人権の尊重
2. 安心して働ける職場づくり
3. 法令などの遵守
4. 公私のけじめ
5. 各国・地域の法令の遵守、人権に関するものを含む各種の国際規範の尊重
6. 環境保全への配慮
7. 独占禁止法関係法令の遵守および公正な取引の実施
8. 商品・サービスの提供
9. 商品・サービスの安全性の確保
10. お客さまへの対応
11. 社会とのコミュニケーション、社会貢献
12. 関係先・取引先との交際
13. 取引先への理解促進、協力の要請
14. 情報・システムの取扱い
15. 情報の公開
16. 知的財産の取扱い
17. 反社会的勢力との関係遮断、利益供与の禁止
18. 適正な納税と経理処理

当社グループ各社で働く役員・従業員が、「Daigasグループ企業行動基準」をより理解しやすいように、18項目からなる同基準のエッセンスを抽出して、この「私たちの宣言」(10項目)を設定しました。

「Daigasグループ企業行動基準」要約版「私たちの宣言」



▶ 「Daigasグループ企業行動基準」要約版「私たちの宣言」

- I. 人権を尊重し、安心・快適に働ける職場を実現します。
- II. 法令を遵守し、良識に従い業務を遂行します。
- III. グローバルな事業活動において、各国・地域の法令、人権に関するものを含む国際規範を尊重します。
- IV. 地球環境に配慮して行動します。
- V. 公正な取引・競争を行います。
- VI. 安全で高品質な商品・サービスを適正な価格で提供し、お客さま満足の向上に努めます。
- VII. 関係先・取引先との交際は、節度を守り良識の範囲で行います。
- VIII. 情報の価値・重要性を正しく認識し、適正に取り扱い、公開します。
- IX. 反社会的勢力との関係を遮断します。
- X. 適正な納税と経理処理を行います。

企業理念の浸透

Daigasグループは、「長期経営ビジョン2030」において「時代を超えて選ばれ続ける革新的なエネルギー&サービスカンパニー」への進化を掲げています。また、「中期経営計画2026」では、当社グループの志として「今日の安心をまもり、未来の日常をつくる」を掲げています。

これらは、当社グループが創業以来、大切にしてきたグループ企業理念を踏まえ策定しています。価値創造の実現に向けて、従業員一人ひとりがグループ企業理念を理解することが重要との考えのもと、2021年度からは、創業記念日がある10月を「グループ企業理念月間」と定め、e-ラーニングや職場勉強会等を実施し、グループ従業員への企業理念浸透活動に継続的に取り組んでいます。

社長とグループ従業員の直接対話の機会を設定

Daigasグループでは、従業員の一体感を醸成することを目的に、大阪ガス社長が職場を訪問し、従業員と直接対話する機会を設けています。

「Daigasグループ企業理念」でも目指す姿として明記している「暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループ」への社長の思いなどを伝えるとともに、各職場のメンバーと忌憚のない意見交換を行うことで、グループの一体感を醸成することに取り組んでいます。

2023年度は、ガス製造・エンジニアリング部、Osaka Gas USA、(株)オーガス総研などを対象に計9回開催しました。また、若手従業員との懇談会も3回開催しました。



社長の職場訪問の様子

国連グローバル・コンパクト10原則およびISO26000の視点を盛り込んだ「Daigasグループ企業行動基準」

2007年6月、大阪ガスは、国連が提唱するグローバル・コンパクト(以下、国連グローバル・コンパクト)に賛同し、日本の公益企業としては初めて参加を表明しました。国連グローバル・コンパクトが示す「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野で企業が遵守すべき10原則(「人権保護の支持と尊重」「人権侵害への非加担」「結社の自由と団体交渉権の承認」「強制労働の撤廃」「児童労働の実効的な廃止」「雇用と職業の差別撤廃」「環境課題の予防的アプローチ」「環境に対する責任のイニシアティブ」「環境にやさしい技術の開発と普及」「強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み」)を支持しています。

2008年5月には「Daigasグループ企業行動基準」に国連グローバル・コンパクトの10原則全てを盛り込む改定を行い、「外国公務員への賄賂の禁止」と「児童労働の禁止」を明記しました(現在は行動基準の理解促進のための社内向け解説書に詳細を明記)。これらの原則はお取引先と当社との関係にもかかわることから、2009年6月に「購買活動の行動基準」(現在の「Daigasグループ調達方針」および「Daigasグループ取引先の皆さまへのお願い(調達に関するガイドライン)」)に国連グローバル・コンパクトの遵守を明記する改定を行いました。

また、2010年11月に発行されたISO26000の視点も踏まえて、「各国・地域の法令、人権に関するものを含む国際規範の尊重」「取引先への理解促進、協力の要請」等を新たに追加し、2011年7月に「Daigasグループ企業行動基準」を改定しました。

「Daigasグループ企業行動基準」の浸透

「Daigasグループ企業行動基準」の理解促進を目的に、行動基準のエッセンスを抽出した要約版「私たちの宣言」(10項目)を設定し、携帯カードの配布やイントラネットへの掲載を行い、全従業員に周知しています。また毎年、当社グループ全従業員のコンプライアンスに対する認識状況や職場における浸透状況等を把握する目的でアンケートを実施しており、2023年度は約21,500人(嘱託社員、アルバイト含む)の約90%が回答し、企業行動基準への理解度を高水準で維持していることを確認しました。その他、アンケートで認識した課題については、組織の対応策に組み込むなど、グループ従業員の意識向上につながるよう取り組みました。